

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	警防課
		全体計画						経費区分		-		内線	3781
事務事業名	4342 消防施設管理事業												
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署												
施 策	03021400 消防・救急体制の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	090103 消防費・消防費・消防施設費											
	事業	010000 消防施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
消防施設を適正に維持管理し、災害時の対応に万全を期する						<ul style="list-style-type: none"> ・経年老朽する施設の改修 ・既存施設の活動向上のための改修 ・地上式消火栓の設置及び維持管理 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の設置及び維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防施設修繕 ・地上式消火栓の設置25基及び維持管理19基
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の設置22基及び維持管理16基 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の17基設置及び11基維持管理（予定）
平成31年度 予定	平成32年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の 基設置及び 基維持管理（予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の 基設置及び 基維持管理（予定）

指標名	出火率の減少				
算式	-				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由	-				
最終年度目標の根拠	-				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		19,284	25,445
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		19,284	25,445
人員数(人)	正規職員	0.6	0.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,289.4	4,289.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,289.4	4,289.4
市民一人当たりの経費		0.5	0.6
総額		23,573.4	29,734.4

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,221	消防団機械器具置場修繕252 消防本部庁舎施設修繕
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	16,904	消火栓設置12,965、維持管理費3,939
その他	1,159	借上料295、火の見半鐘打鳴装置購入864

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,200	施設修繕 防火水槽（蓋、内壁）改修
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,685	防火水槽解体工事
19節 負担金補助及び交付金	20,282	消火栓の設置17,010、維持管理費3,272
その他	1,278	借上料295、火の見半鐘打鳴装置購入983

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防水利の整備充実に必要 経年老朽する団詰所・機械器具置場を修繕し、また地上式半鐘打鳴装置を購入し団活動の安全を図る	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	地上式消火栓を整備することにより視認性・操作性が向上するとともに、自主防災組織での初期消火体制に有効 地上で半鐘を打鳴でき、安全性が向上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	水道事業者の工事に併せて消火栓を設置し、コストカットを図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

関係部局との連携維持
既設の施設を維持管理する
半鐘打鳴装置の継続的設置

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
・半鐘打鳴装置設置や防火水槽修繕など計画どおり執行している		市は消防責任者として、消防通信、消防水利等を継続して適切に維持管理していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	